



イザヤ四十二章5、6節
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。

天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。

創造をそのまま信じることの大切さ (3)

愛する人たち。そういうわけですから、
このことをあらかじめ知っておいて、よく気をつけ、
無節操な者たちの迷いに誘い込まれて
自分自身の堅実さを
失うことにならないようにしなさい。
(2ペテロ 3:17)



ジェネシスジャパン会長 宇佐神 実

心を定めることが大切

聖書のことばが理解しにくい場合、その理由は2通り考えられます。1つは「聖書が書かれた当時の文化や時代背景がわからない」ため、もう1つは、「自分の先入観が邪魔をして聖書の言葉を受け入れにくくしている」ためです。ペテロはパウロ書簡や聖書について次のように語っています。

その手紙の中には理解しにくい

ところもあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の個所のばあいもそうするのですが、それらの手紙を曲解し、自分自身に滅びを招いています。

2ペテロ 3:16

ここで「心の定まらない人」は、聖書の言葉をそのまま信じる代わりに曲解するので、自らに滅びを招くと教えています。

たとえば、創世記1章は子供が読んででもそのまま理解できる箇所です。それは額面通り素直に受け

取るからです。しかし進化論の先入観が入っている人は、心が定まりません。「これは進化論の教えとは違う。どう考えたら良いのだろう」と。

この場合の対処法は、2通りです。「聖書は創造主の言葉だから正しい」と心を定めるか、「聖書にはこうあるが世間の教えも捨てがたい」と心を定めないかです。

心を定めている人は、自分の先入観と聖書のことばが矛盾する時、先入観を捨てて聖書のことば

をそのまま信じます。心の定まらない人は、自分の先入観を優先しつつ聖書のことばを理解しようとします。前者は聖書の絶対的権威を認め、後者は聖書よりも自分の判断に権威を置くのです。

進化論との妥協案

多くの進化論を受け入れた神学者や聖書学者が、進化論と創世記1章の妥協案を探し求めて試行錯誤しています。

近年、世界的に著名な科学者たちが進化論には根拠が無いことを認めているにも関わらず、多くの神学者が進化論には根拠があるのだと信じ続けているのです。

南部バプテスト神学校教授のウィリアム・デムスキーはこう述べています。「若い地球という立場のように、天地創造の順序が自然の歴史だと受け入れることは神学的・聖書解釈学的に非常に筋が通っている。事実、宗教改革者たちまで遡る圧倒的な数の神学者たちがこの点で一致している。私自身もそれを躊躇なく受け入れたいが、自然はそれに反する強力な証拠を提示している。したがって、若い地球の立場を受け入れることなどとてもできない。(The End of Christianity, P.55)」

彼の言う「若い地球の立場」とは創世記1章を文字通りに信じる立場です。彼は進化論は創世記1

章に反する強力な証拠だと信じ込んでいるため、それを文字通りに受け入れられないと言うのです。

ホイートン・カレッジの旧約学教授ジョン・ウォルトンは宇宙神殿説 (Cosmic Temple Theory) を提唱して「私の提供した解釈をすれば、進化論はほとんど不愉快ではない。(The Lost World of Genesis p.170)」と述べています。

彼が近年提唱している宇宙神殿説の要点は次の通りです。

＊創世記1章は物理的な天地の起源ではなく、目に見えない「宇宙神殿」に関する記述である。

＊創世記1章の日は、それまで無秩序だった既存の被造物に、「宇宙神殿」における職務を与え秩序をもたらした事を指す。

＊創世記1章は、物理宇宙の起源ではないので、進化論との間に矛盾は存在しえない。

彼は、発掘されたエジプトやメソポタミアの古文書や遺跡から、古代の神殿が宇宙を表していたことがわかるので、創世記の天地創造も同様だと解釈したのです。

果たして異教神殿の宇宙観を聖書解釈の根拠とすることに、創造主が同意するでしょうか。

彼は、神殿が宇宙を表しているという古代の概念が失われて以来、歴史を通じてほとんどの信仰者が、天地創造を文字通りに信じるという過ちを犯してきた。しかし古代文明の宇宙神殿を根拠に据

えることで、再び創世記1章の正しい理解が可能となったと主張するのです。

使徒ペテロの先入観

その中で、ほかのすべての手紙でもそうなのですが、このことについて語っています。その手紙の中には理解しにくいところもあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の箇所の間にもそうするのですが、それらの手紙を曲解し、自分自身に滅びを招いています。(2ペテロ 3:16)

ニュースレター 25号「創造をそのまま信じることの大切さ」で、ペテロの失敗から考えさせられることを書きました。

ペテロは、キリストが「祭司長、律法学者たちから苦しみを受け、三日の後に甦る」と語られたのを聞き、キリストを引き寄せていさめ、「そんなことが、あなたに起こるはずがありません。」とキリストの言葉を否定しました。その結果、彼は「下がれ、サタン」と



叱りつけられてしまったのです。

おそらくペテロの先入観は、次のようでした。

『やがてキリストはイスラエルの王となり、ローマの圧政から国を救い出し、自分はキリストの側近として役職を与えられる』と。

だからペテロはキリストのことばをそのまま信じないで否定したのです。

ペテロの過ちは、キリストの言葉よりも自分の先入観に権威を置いたことです。「下がれ、サタン」と叱りつけた時のイエス様の表情とことばの激しさを、ペテロは一生忘れなかったことでしょう。

2ペテロ 3:16は、キリストに叱られた経験がそのまま反映されているように思われます。

だからペテロは、先入観が妨げとなって聖書が理解しにくい時、心の定まらない人は曲解して自分に滅びを招くと述べたのです。

ペテロ同様の考えを最後まで抱き続けたのは、イスカリオテのユダでしょう。そして彼は、自らに滅びを招いてしまいました。

心を定めて聖書に基づく

今、前述の旧約学教授ジョン・ウォルトンは、宇宙神殿説を広めるために世界中を飛び回り、神学校、宣教団体、教会が彼を招いてその話を聞こうとしています。

しかし私は、彼に自分のしてい

All Asian Creation Conference AACC JAPAN

5/31 12:30 受付開始
13:30～17:00, 基調講演・分科会
19:30～21:00, 創造宣教40年感謝礼拝
6/1 10:00～12:00, シンポジウム
(1)アジア創造宣教 AACC
(2)聖書からLGBTを考える
13:30～17:00, 基調講演・分科会
19:30～21:00, 分科会
6/2 10:00～12:00, 基調講演
10:00～13:00, 韓国語講演
13:30～17:00, 分科会
スケジュールは、都合により多少変更される場合があります。

2018 OKINAWA
◆ホームページ <https://aacc2018.wixsite.com/index>

ることの危険性に気づいて欲しいと切に願います。また、そのメッセージを聞く人々が、ただ彼のことばを鵜呑みにするのではなく、「心を定めて」聖書に基づいて判断することを願います。ペテロはこのように警告しています。

愛する人たち。そういうわけですから、このことをあらかじめ知っておいて、よく気をつけ、無節操な者たちの迷いに誘い込まれ自分自身の堅実さを失うことにならないようにしなさい。(2ペテロ 3:17)

またキリストも、ペテロを叱責した後こう語りました。

だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。(マタイ 16:24)

ペテロが自分の先入観から失敗したという文脈から考えると、「自分を捨て」とは、まず聖書と矛盾する自分の先入観を捨てることではないでしょうか。自分の先入観や世の教えと辻褃を合わせようとする代わりに、聖書とキリストのことばをそのまま受け入れ、信じようではありませんか。

◆シンポジウム

1 2

アジアにおける創造宣教
創造と性意識の混乱への取り組み

「創造を伝える働き人養成講座」参加レポート

片山 泰志 (21)

私はこのセミナーで沢山学び、沢山変わることができました。

いま私は、「福音を伝える」ということに対する恐れは一切ありません。なぜなら、セミナーで学んだことをそのまま伝えれば良かったからです。

神様は聖書のいくつもの箇所でも福音を伝えることを命じています。「福音を宣べ伝えた方がいい」ではなく、「福音を宣べ伝えなさい」と言っています。それほど、私達にとって「福音を伝える」ということは重要です。

しかし、福音を伝えたいが、「まず何から話したらいいのかわからない。相手に理解してもらえなかったらどうしよう…」と思ったことはありませんか？ オシャベリ

な私でも「福音を伝える」というのは難しい壁でした。

しかし、今回のセミナーを受け、学んだことで、その壁を一気に越えることができました。

セミナーを受けた一ヶ月後に、高校時代の友達と食事に行く機会があり、彼に福音を伝えました。恐らく三時間以上は長々と話していたと思います。

進化論と創造論、ヨハネの黙示録の預言を中心に話しました。まだ彼は完全には神様を信じてはいませんが、「教会に行ってみよう」と言ってくれました。

本当に神様に、そしてセミナーで沢山教えてくださった皆様に感謝です。

講座・イベント案内

■ AACC JAPAN

2018/5/31 (木)～6/2 (土)

@那覇バプテスト教会

いざ AACC Japan へ！

今年は、日本において創造宣教が開始されて40年目です。

この記念すべき年、5/31-6/2に、AACC（全アジア創造カンファレンス）を沖縄で開催し、アメリカ・オーストラリア・アジアの約30名の講師が聖書の創造を語ります！

日本にこれだけの創造を語る講師が集まることは二度とないかもしれません。是非ご参加ください。

<https://aacc2018wixsite.com/index>

■ ジェネシスジャパン

秋の創造セミナー

2018/10/25 (木)～27 (土)

@白馬グリーンプラザホテル

詳細のお問い合わせ・お申し込み・

セミナーや講演のご依頼は、
ジェネシスジャパンまで

創造を伝える働き人養成講座

【募集要項】

- ・ 聖書の言葉が創造主の言葉だと信じる人。
- ・ 御子イエス・キリストを救い主と信じている人。
- ・ 創造を信じることの大切さを学び、伝えたいと願っている人。

講座の目的と概要

- * 創造主のみわざのすばらしさに感動し、その感動を伝える働き人が起こされる
- * 創造論の講演に加え、創造論の背景となる知識や考え方を少人数で学ぶ
- * 創造を伝えるのに使える資料の提供
- * 修了証授与（全日程参加者）
- * 創造論を用いての個人伝道、CSや教会でのメッセージ、講演ができるように協力
- * 創造論伝道で励まし合える仲間を育む

2泊3日5食・定員12名・参加費3万円

お申込／詳細のお問合せは

ジェネシスジャパンまで

tel 029-292-9621

fax 03-6862-8340

e-mail info@genesisjapan.com